

AUTUMN/2022

VOL.95

発行／(公財) 東京都人権啓発センター

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO 人権

パートナーと
いっしょに
生きる



令和4年度重点課題 「障害者の人権」

公益財団法人東京都人権啓発センターでは、毎年重点的に取り組む課題を設定し、事業を展開しています。
令和4年度は、「障害者の人権」についての講座やイベントを順次開催しています。



人権問題都民講座 9月23日開催 「eスポーツ」の可能性

コンピュータゲーム競技「eスポーツ」をテーマに、eスポーツの社会的意義や現状、その可能性について学びます。バリアフリーeスポーツの実演・体験も実施します。

発明プロジェクト2「障害当事者の課題を『自分事』にできる仕掛けづくり」

特別支援学校に通う障害のある子どもたちの特性を起点に、障害の有無に関わらず誰もが一緒に楽しめる6つのアクティビティを発明しました。

※YouTubeの(公財)東京都人権啓発センター公式チャンネルでご覧いただけます。



パラリンピックムラールの設置 9月中旬以降

東京2020大会期間中選手村に設置されたパラリンピックムラール（障害者の権利推進と持続可能な共生社会実現への願いを込めて選手等がサインしたモニュメント）を、大会のレガシーとして東京都人権プラザにて公開予定です。

子供人権教室 12月開催予定

家族の精神障害や子ども自身の心の不調など、なんとなく「つらいな」と感じる毎日を、子どもたちが少しでも明るく乗り越えられるようなワークショップを開催予定です。



このほか、障害をテーマにした企画を順次行っていく予定です。詳細は東京都人権プラザおよび東京都人権啓発センターのホームページをご確認ください。

東京都が掲げる 17の人権課題

- 女性 ●子供 ●高齢者 ●障害者 ●同和問題(部落差別) ●アイヌの人々 ●外国人 ●HIV感染者・ハンセン病患者・新型コロナウイルス感染症等 ●犯罪被害者やその家族 ●インターネットによる人権侵害 ●北朝鮮による拉致問題 ●災害に伴う人権問題 ●ハラスメント ●性自認 ●性的指向 ●路上生活者 ●様々な人権課題 (順不同)

YouTube / 公財・東京都人権啓発センター

主催事業等に関する動画をアーカイブし、YouTubeの公式チャンネルで公開しています。
是非ご覧ください。



動画一覧

【発明プロジェクト 第2弾】完成発表イベント/第2回シンポジウム「ポストコロナ時代の人権教育・人権啓発とは―社会を担う『子ども・若者』の人権―」など



公益財団法人
東京都人権啓発センター
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PROMOTION CENTER

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0082 (総務課)
FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



東京都人権プラザ
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA



(公財) 東京都人権啓発センターは東京都人権プラザの指定管理者です。

TOKYO 人権

目次 CONTENTS

3 ROUND-TABLE TALK

「ほじょ犬」と一緒に生きている私たち
をそのまま社会に受け入れてほしい

セア まりさん & 盲導犬ベーチェル

にしざわ よういちろう

西澤 陽一郎さん & 介助犬ラッキー

まつもと えり

松本 江理さん & 聴導犬チャンプ



7 子ども向け企画

きみは、知ってる？

新企画！

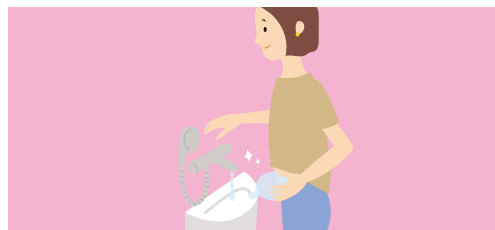
「子どもの権利条約」とコルチャック先生



8 外見からはわからない障害を知ろう

知っていますか？「内部障害」

人権 世界へのトビラ



9 特集

旧優生保護法が教えること

10 JINKEN note

コラム

子どもの意見を聞き、区政に活かす

墨田区「中学生区議会」の取り組み



毎週土曜日
放送中！

蓮見孝之
まとめて！
土曜日

毎週土曜日 朝 7時～8時45分



(公財)東京都人権啓発センターでは、
人権問題をテーマに、リスナーに分か
りやすく身近な話題を取り上げる人権
啓発ラジオ番組を提供しています。

人権
TODAY

最近の放送テーマ ハンセン病問題を地域で伝える／障害者の描くイラストをビジネスに／住宅弱者の家探しをサポートするコンサルティング会社

番組名 | 人権TODAY「蓮見孝之まとめて！土曜日」内のコーナー
放送局 | TBSラジオ AM954kHz／FM90.5MHz
放送日時 | 毎週土曜日 朝8時20分頃から5分間
キャスター | 蓮見孝之さん、北村まあささん



「ほじょ犬」と一緒に生きている私たちを
そのまま社会に受け入れてほしい



①



②

座談会メンバー

- コーディネーター（司会）
① 橋爪 智子さん
② セア まりさん
& 盲導犬ベーチエル
③ 西澤 陽一郎さん
& 介助犬ラッキー
④ 松本 江理さん
& 聴導犬チャンプ

補助犬は身体障害者をサポートするパートナーとして長い歴史を持っています。2002年10月に「身体障害者補助犬法」が施行され20年が経過しました。当時は不特定多数が利用する施設への補助犬同伴受け入れが義務化されたことが、マスコミにも取り上げられ話題になりました。現在も、補助犬への誤解から、いまだ同伴受け入れ拒否に遭うことも少なくありません。そこで、盲導犬・介助犬・聴導犬のユーザーに、それぞれの日常や心情について語り合っていました。

補助犬と暮らすようになったきっかけ

橋爪 自己紹介も兼ねて、ご自身の障害と、今取り組んでいることなどについて、お話しいただけますか。

セア 私は進行性の網膜色素変性症もうまくしきそへんせいしょうによる視覚障害があって、今いるこの部屋



●セア まり(せあ・まり)
& 盲導犬ベーチエル



もうまくしきそへんせいしょう
網膜色素変性症による視覚障害がある。シャルル・ボネ症候群という幻視が現れる症状を併発。
『見えない私の見える世界』を描く個展「景絵(ひかりえ)」を開くなどの活動をしている。



●西澤 陽一郎(にしざわ・よういちろう)
& 介助犬ラッキー



25歳から車いす生活になり20年が経つ。介助犬と一緒に1人暮らしを再開。ラッキーと共に会社に勤務し多忙な日々を過ごす。休日はラッキーと出かけたり、旅行を楽しんだりしている。



●松本 江理(まつもと・えり)
& 聴導犬チャンプ



聴覚障害で、23歳でほとんどの音を失う。聴導犬と暮らすようになり27年が経つ。子どもたちに向けて、補助犬や障害について伝える活動を積極的に行なっている。



●橋爪 智子(はしづめ・とものこ)

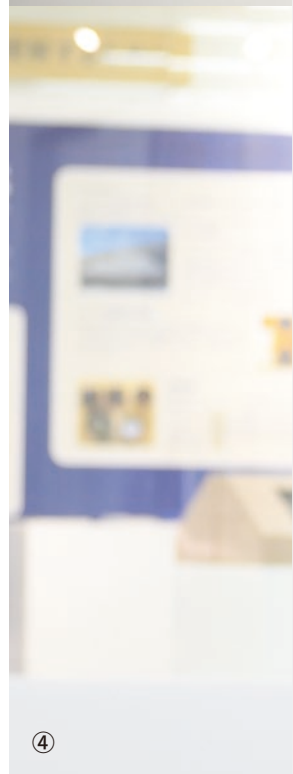
NPO法人 日本補助犬情報センター事務局長。会社員時代にAAT(動物介在療法)に出会い、ボランティア活動をしながら国内外で学ぶ。身体障害者補助犬法の制定に準備段階から関わった。



「ほじょ犬マーク」

身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。この法律では、公共の施設や交通機関、デパートやスーパー、ホテル、飲食店などの民間施設は、身体障害のある人が補助犬を同伴するのを受け入れる義務があることを定めています。

③



④

でも何となく光を感じられる、というくらいです。20年前に始めたスキューバダイビングにはまり、10年ほど前からは競技のフリーダイビングにのめりこんでいます。5月には神戸で「シャルル・ボネ症候群」の世界を描いた絵画の個展を開きました。

西澤 色々な活動をされていますよね。私は25歳のときに車いす生活になって「もう何もできなくなってしまった」と悲観して、家にこもって暮らしていたんです。でも介助犬と暮らすようになって、から気軽に外に出られるようになって、週末は旅行に行ったり、介助犬と一緒にハワイにも行ったりしました。

松本 私は後天性の聴覚障害なんです。23歳でほとんど聞こえなくなつて、その後聴導犬と暮らすようになって27年目です。手芸やアクセサリーを作ったり、聴導犬チャンプの様子をSNSに投稿したりして楽しんでいます。

橋爪 みなさん、いろいろと活動的です。補助犬を共に生きるパートナーとしながらの生活だと思いますが、いつものようなきっかけで補助犬を迎えること



介助犬は物を拾ったり、車いすに付属したワイヤーやスカーフを使って段差をアシストしたりする

になったのですか。

セア 盲導犬と暮らし始めたのは15年ほど前です。昔から動物愛護の運動をしていて、盲導犬は厳しく訓練されて働かされていてかわいそうだと思っていたから、「私は絶対使わない!」と心に決めていたんです。でも実は盲導犬になる犬は、愛情をたっぷり与えられて育っていることを知って、「それなら私も!」と。もともと動物は好きですから。

西澤 私が最初の介助犬と暮らし始めたのは14年くらい前です。当時は、実家で両親に助けってもらいながら暮らしていました。でも本当は自立したかったんです。あるとき、街中で介助犬を連れている人を見かけて、「そうだ、介助犬がいれば自立できるかもしれない」と思って、その人に声をかけて、あれこれ話を聞いたんです。それがきっかけでしたね。

松本 障害のことを重く考えて、できないことばかり考えてしまうときに私に



介助犬ラッキーが、落としてしまった鍵を拾う

もありました。でも、補助犬という選択肢を知って変わったんです。私が聴導犬と暮らし始めたのはかなり昔のこと、きつかけは結婚でした。独身のときは実家で家族に助けてもらいながら生活していたので、結婚して実家を出た後はどうすればいいだろうと途方に暮れていました。そんなとき、あるイベントで聴導犬のデモンストレーションを見て、こんな犬がいたら私も結婚してもやっていけると思うて。

橋爪 補助犬によって可能性が広がり、生き方そのものも変わってくるのですね。具体的には、補助犬はどのようにみなぎるをサポートしてくれるのでしょうか。

松本 音が聞こえないと、いつ誰が来るか、いつお湯が沸くか、いつ赤ちゃんが泣くか、音が鳴っていないときにも、ずっと気を張っていないといけないんです。聴導犬がいれば、そういう音を全部教えてくれるので、音のことは忘れて安心して好きなことをしていられます。たとえば赤ちゃんのことを常に見ていなくても、

私が眠りこんじゃっても、赤ちゃんが泣きだせば、聴導犬が教えてくれます。

西澤 そうそう。思いがけないメリットがあるのです。たとえば介助犬ラッキーを連れて外出するようになってから、近所の人とよく話すようになりました。東日本大震災のときも近所の人たちが、「犬を連れてくる車いすの人は大丈夫かな」と安否を気にかけてくれて。もちろん、車いすを引っ張ってくれたり、物を落としたら拾ってくれたり、介助犬としての仕事でも助けられていますよ。

橋爪 落とした物を拾ってもらったとき、誰かにお願いしたときと、ラッキーがしてくれたときでは、何か違いがありますか。

西澤 介助犬とは一心同体のような感じで、ラッキーがしてくれたことは自分でやったような感覚なんです。遠慮もないですし、気持ち的に大きな違いがありますね。それが自信にも繋がっているのか、両親からも「性格がとても明るくなつて、安心した」と言われました。

無償の愛情を体中で表現した
盲導犬フリルの「大勝利」

セア 補助犬が心を明るくしてくれるんですよね。盲導犬と一緒にいると笑顔になって顔が上がるってみんな言っています。私も、以前は足元を探りながら歩いていたのが、前を向いて背筋をピンと伸ばして歩けるようになりましたしね。



盲導犬バーチェルは、歩行中の曲がり角や段差、障害物を教えてくれる

ただ、世の中にはまだまだ誤解もあって、ガイドさんと盲導犬を連れて歩いていたら、「ずいぶんいい身分じゃないか」と嫌味を言われたことがあって、ショックを受けました。

橋爪 セアさんは、頭の中で地図を思い描ける場所なら盲導犬とペアで歩けるけれど、初めて行く場所にはガイドさんが必要になる。そのことが、その人には分からなかったのでしょうか。

セア こんなこともありました。盲導犬を連れて募金活動に参加したら、男性が「犬が電車に乗るだのレストランに行くのだの、とんでもない！」と怒鳴って、カバンを振り回して暴れだしたんです。盲導犬協会の人がとりなそうとしても「犬は大嫌いだ！」と取り合ってくれなくて。そのとき、以前一緒に暮らしていた盲導犬のフリルが、その人の前にちょこんと座って、ぶんぶん尻尾を振って体中で愛情を示し始めたんです。その人が「犬は嫌いだって言ってるだろ！」と怒鳴っても、ずっと尻尾を振っていて。そ



歩行中、聴導犬チャンプが後ろから自転車か来ていることを教えてくれる

のうちに、その人は「負けた」とつぶやいて去っていったんです。なんだかすごく感動して、フリルから人との接し方を教わったような気がしました。

橋爪 補助犬になる犬たちは、小さいうちから愛情いっぱい育てられているので、人間に対する信頼感が違うのですよね。大好きなお父さん、お母さんに褒められたい子どものような気持ちで、パートナーに対する無償の愛を感じます。

外出先で気づいた
聴導犬の意外な役割

松本 西澤さんがおっしゃっていたように、補助犬がいることで、間接的に助けられていることが私にもあります。私の場合、聞こえなくても、一人で移動はできるのですが、街にいるとき周囲の人には私の障害が見えません。だから、何か異常な事態を告げるアナウンスが流れていても、周りの人は私にもそれが聞こ



盲導犬は体にハーネスという白い胴輪をつけ、動きをユーザーに伝えている

えていると思うんです。でも、実際には聞こえないので、一人だけ取り残されてしまう。それが「聴導犬」と書かれたケープをまとった犬と一緒にいると、私が聞こえない人だと分かるので、気づいた人に声をかけてもらえます。

例えばバスで初めての場所に行くとき、降りるまでずーっと窓の外やバス停の表示を必死の形相で確認することになるのですが（笑）、聴導犬がいると、誰かが声をかけて助けてくれるんです。実際に何度も助けられました。

「補助犬法」はできたけれど、まだまだ誤解や偏見は多い

西澤 でも、補助犬は強制的に大変な仕事をさせられてかわいそうだと思います。入っている人たちもけっこういて。突然やってきて「犬に仕事をさせるなんてかわいそうじゃないか」と言い放って、こちらが反論する暇も与えず去っていく人もいました。もうなんともいえない悲し

い気持ちになるんですが、介助犬と目が合うとね、ニコニコして尻尾をぶんぶん振って「一緒に歩くの楽しいねー」と言ってくれているんです。自分は介助犬と一緒にいるから頑張れるし、幸せでいられるんだな、とつくづく感じます。

橋爪 補助犬のことをかわいそうなんだと思っている人もいれば、完全無欠のスーパードッグだからいつも模範的な姿を見せるべきだと思いついて入店を拒否するお店もあります。それぞれの思い込みで、補助犬に対してまちまちな印象が混在している社会で過ごすのは、本当に大変ですよ。多くの人に補助犬のことを正しく知ってもらえる機会をつくってきたいです。

「補助犬法」が制定されて20年になります。もともとは介助犬のための法律として制定されようとしていたのを、松本さんたちの尽力があつて、聴導犬と盲導犬も対象に含まれたのですよね。松本さんはこの法律が制定される前から聴導犬と生活されていますが、法律ができる前とできた後で何が変わりましたか。

松本 補助犬法ができるまでは、盲導犬以外の補助犬には、はっきりした基準がありませんでした。法律の制定後は、定められた基準によって認定された犬たちだけが盲導犬・介助犬・聴導犬と名乗れ

ることになりました。そのために、いろいろな責任も生まれたのですが、半面、お墨付きを得ていることは後ろ盾にもなっています。とはいえ、今でもタクシーが停まってくれなかったり、レストランの予約を断られたりすることがあつて、法律ができたからそれで180度変わるわけではありませんでした。

補助犬と一緒にいる私たちが自然に受け入れられる社会を

セア 何も特別なことを求めているわけじゃなくて、ただ傍らに盲導犬がいるということを自然に受け入れてほしいんです。例えばお店に入ろうとしても、拒絶されることもあるし、反対に受け入れてくれたお店で不自然に気を遣われて居



セットしたタイマー（左写真）が鳴ると、跳び上がって知らせる（右写真）聴導犬チャンプ

心地が悪くなったり。

西澤 私は介助犬と一緒に一般企業に勤めているんですが、補助犬を連れて一般企業に勤めている人はまだまだ少ないと思います。補助犬の必要性を分かってもらうまでには、高い壁があることを、身をもって実感しました。今では、ラッキーは職場でアイドルのような存在になっていきますけど（笑）。補助犬の働きぶりを実際に見てもらえれば受け入れてくれる職場は多いはずなんです。

松本 「障害者の人権問題」として堅く考えてしまう前に、障害者と補助犬の関係について知ってもらう機会をもっと増やして、補助犬を通じての社会参加を受け入れられる社会になるといいですね。

セア 障害のあるなしに関わらず、私たちだって、行きたいところに行つて、やりたいことをしたい。それができないのは、障害のせいではなくて「障害のない人中心の社会」のせいだと思います。**橋爪** 障害イコール「何もできない人」という見方をやめて、あたりまえに同じ仲間なんだということを認識してもらうことからのスタートだと感じます。そのために、補助犬やみなさんのことについて、もっと知ってもらう活動をしていきたいですね。

企画 田村 鮎美（東京都人権啓発センター専門員）／編集 杉浦 由佳／撮影（表紙・2〜6ページ）ウエストゲート里永愛／協力 NPO法人日本補助犬情報センター

きみは、 知ってる？

新企画

「子どもの権利条約」と コルチャック先生

戦争は子どもたちを犠牲にします。そうした不幸を繰り返さないために「子どもの権利条約」は1989年に国連で採択されました。大人と同じ一人の人間として尊重されるために、子どもの権利を求めたコルチャック先生は「子どもの権利条約」の生みの親と呼ばれています。

こどもの けんり じょうやく

ポ

ーランドに生まれたユダヤ人の医師であるコルチャック先生は、貧しいユダヤ人の子どもたちが暮らす孤児院の院長になりました。そこでは議会が作られ、意見を発表するための新聞を発行するなど、子どもたち自身で考え、決めることが大切にされました。ポーランドは第二次世界大戦中、ナチスドイツによって占領され、コルチャック先生は孤児院の約200人の子どもたちといっしょに強制収容所へ送られ、殺されました。

「子どもは
“はん人前の大人”
ではなく、
“今を生きている人間”だ。
子どもだって
尊重されなくてはならない」

コルチャック先生



こうしたコルチャック先生の考えが受け継がれて「子どもの権利条約」は作られたのです。



『コルチャック先生
子どもの権利を求めて』
(フィリップ・メリュ原作
／ペフ絵／汐文社)



『世界中の
子どもの権利をまもる
30の方法』
だれひとり置き去りにしない！
(申斐田方智子＋
国際子ども権利センター編／合同出版)

さんこう
参考にした本
よ
読んでみよう



「子どもの権利条約(※正式名：児童の権利に関する条約)」は、こちらで詳しく学べます。(リンク先：(公財)日本ユニセフ協会ホームページ「子どもと先生の広場」<https://www.unicef.or.jp/kodomo/kenri/>)。





知っていますか？

内部障害

からだ ないぶ しょうがい
体の内部に障害があることをいいます。外見からはわからないのですが、疲れやすかったり、トイレ利用の困りごとがあったり、タバコの煙で苦しくなったりするなど、周囲の方の理解と配慮を必要とする障害です。

たとえば..

膀胱・直腸機能障害

尿をためる膀胱、便をためる直腸が、さまざまな病気のため機能低下または機能を失った状態のことです。排泄物を体外に排泄するための、人工肛門・人工膀胱を造設する方（オストメイト）もいます。

どんなことに困る？

外出先で、汚れたパウチや衣服、体を洗う設備がない。

対応の方法

「オストメイト対応トイレ」または、広めの洋式トイレが使えると安心です。

東京都福祉保健局ホームページ (<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tokyohart/shougai/naibu.html>) を参考に作成。
※造設とは、手術をしてつくるとい意味です。

外見からはわからない 障害を知ろう

このコーナーでは、
外見からは気づきにくい
障害について解説します。

このコーナーでは、主に中高生向けに
世界の人権問題の解決に
取り組む団体を紹介しします

人権 世界へのトビラ Vol.5



世界中、医療が届かない人びとのもとへ駆け付ける「国境なき医師団」

国境なき医師団は民間で非営利の医療人道援助団体です。紛争地や自然災害の被災地などで危機に瀕する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。2021年には世界約70の国と地域で、医師をはじめ約4万6000人のスタッフが活動しました。1971年にフランスで設立、1999年にはノーベル平和賞を受賞しました。日本国内では、活動に参加する人材の採用・派遣、人道危機や医療ニーズを伝える証言・広報活動、活動を支える資金調達などを行っています。

注目の一枚



リビアの収容センターの倉庫。700人が収容されていた（2019年6月16日）© Jérôme Tubiana/MSF

アフリカのリビアでは紛争や迫害、貧困から逃れるため、アフリカや中東から移民が集まり、最低でも60万人が暮らしているとみられています。しかし、移民の多くは収容センターなどで不当に拘束され、日常的に虐待、拷問、性暴力を受け心身に深刻な傷を負っています。国境なき医師団は、リビアで活動する数少ない国際NGOの一つとして、収容センターに拘束されている移民に、保健医療全般と心理・社会的支援を提供しています。また、リビアから欧州に向けて、危険を冒して粗末なボートで地中海を渡ろうとする移民を海上で救助する活動や、欧州などの国々に対し、移民に保護を提供し過酷な環境からの退避が早急に進むよう、働きかけも行っています。

お知らせ 国境なき医師団では、世界の人道危機や国境なき医師団の活動を知ってもらうための様々なイベントを開催しています。現在参加募集中のイベントはこちらに掲載されています。<https://www.msf.or.jp/event/>



特集

旧優生保護法が教えること



本人の意思が問われることなく、子どもを産み育てる生き方を法律によって絶たれた人たちがいます。1948年から96年まで約50年間にわたり施行されていた旧優生保護法の下、特定の障害や疾患などのある約2万5千人に対し、「優生手術」という名目で不妊手術が行われていました。そのうち約1万6500人は、手続き上本人の了解を必要としない強制的な手術だったとされています。なぜこのようなことが起きていたのでしょうか。

生命倫理学が専門で立命館大学副学長の松原洋子^{※1}さんに聞きました。

「出生が望ましい人」と「そうではない人」の区別

旧優生保護法は、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する(第1条)」という目的を掲げて制定されました。この法律の適用を受けて不妊手術の対象となったのは、遺伝性の身体疾患や精神障害、知的障害のある人などで、特に未成年や精神障害者、知的障害者については、本人の承諾なく不妊手術ができるとされ

ていました。旧優生保護法ができた背景について、松原さんは、「敗戦後の混乱で、『日本が文化国家になるには、人口の量以上に質が大事だ』という意識が強くなっていた」と指摘し、「国の発展を妨げる子孫を生んではいけないという『優生思想』に基づき、社会から逸脱するような行動をとる『質』としては良くない集団」と当時見なされた人々が、この法律を適用され、手術を受けさせられた」と説明します。

「過ち」として捉える動き

2018年、宮城県の60代と70代の女性^{※2}が、知的障害を理由に不妊手術を受けさせられたとして国を訴えました(1審で請求棄却)。「これを機に、都道府県が所有していた、被害に関する公文書が次々に開示請求され、被害の実態が明らかになり、旧優生保護法が人権侵害法だとする世論が高まった」と松原さんは話します。

2018年以前の動きの重要性についても、松原さんは次のように説明します。

「1970年代から当事者団体によって『旧優生保護法の『優生』はナチスと同様の優生思想に基づくものだ』といった抗議運動が行われていました。旧優生保護法の優生思想は、80年代以降も女性や障害者たちによって批判されてきましたが、一般にはあまり知られないまま優生条項が削除され、96年に母体保護法になりました。しかし、旧優生保護法下での強制的

な不妊手術や中絶の実態が明らかにされないままの改正であったため、問題の風化が危ぶまれました。97年に、北欧で過去に強制的な不妊手術が行われていたと報じられたことを契機に、強制不妊手術の実態解明を目指す障害者^{※2}と市民の団体が結成され、被害の当事者とともに調査や政府・自治体との交渉が粘り強く続けられてきました。また、障害者団体が中心となつて国連に働きかけ、98年には国連人権委員会から日本政府に強制不妊への補償に対する勧告が出されています。

このような活動が、2018年からの国家賠償請求につながったと考えています。市民や当事者団体を中心になって息の長い運動が続けられてきた結果、旧優生保護法を「過ち」として捉える世論が高まってきたと言えます^{※2}。

優生思想を警戒し尊厳を守る

旧優生保護法が効力を持たなくなったからといって、約50年間も存在していた法律が根拠としてきた「優生思想」を社会の隅々から直ちに除去できるかというと、残念ながらそうとも言い切れません。「旧優生保護法下の当時、家族から強く勧められ手術に至った例も少なくありませんでした。国の優生政策の枠組みの中で、身近なところで優生思想を具体的な形にしてしまつ、実行に移してしまうということが起こってきた」と松原さんは指摘します。

『他と比べてこちらの方が良い』といった願望は、優生思想とイコールではありません。例えば、丈夫な子どもが欲しいとか、無事に生まれて欲しい、病気の子どもに早く元気になつて欲しいと言った素朴な願望はあるでしょう。それを直ちに優生思想とみなす必要はありません。ただ、それが一種の道徳的基準となり、自分を強く縛ったり、他人に対してこうすべきだとか、『こういった子どもは生まれるべきではない』などといった議論に進んだりする場合は、優生思想と言えます」と強調した上で、松原さんは「正しさ」について、次のように提案します。「自分が直感的に感じる『正しさ』を、社会的・歴史的な背景、色々な人の多様な受け止め方を知って、広い視点で捉えること、客観的に見直してみることの大切さを、よく知って欲しいと思います」。

「正しさ」をめぐる議論を尽くしていくことで、人の権利を尊重する態度が形成され、尊厳が守られていくのかもしれません。保護者、医療従事者、国などが、権威性を根拠に人の権利を奪うことは、あってはならないのです。インタビュアー・執筆 吉田加奈子(東京都人権啓発センター専門員)



松原 洋子さん

※1 手術件数出典は、1949～1952年：「衛生年報」(厚生省)、1953年：「昭和50年度 優生保護法指定医師研修会資料」(主催：厚生省協力：日本母性保護医協会)、1954～1959年：「衛生年報」(厚生省)、1960～1995年：「優生保護統計報告」(厚生省)、1996年：「母体保護統計報告」(厚生省)より。

※2 2019年4月、一時金320万円を被害者に支給する救済法が議員立法で成立、施行された。国の賠償責任をめぐる裁判で、2022年2月の大阪高裁判決、3月の東京高裁で国への賠償命令が2件出ている。国による最高裁への上告を受け、除斥期間の法律上の解釈・適用に関しては係争中(2022年8月現在)。

JINKEN note

Column | 有権者ではない子どもたちの意見を尊重するための墨田区の取り組み

小学生や中学生が議員の模擬議会とは



子どもの意見を聞き、
区政に活かす
墨田区「中学生区議会」の取り組み



2021年度の本議会の様子

小学生や中学生が議員となつて、自分たちが暮らす街の課題について意見を述べたり提案を行う模擬議会が、各地の自治体で開かれています。有権者ではない子どもたちの意見は大人に届きにくく、施策にはなかなか反映されません。模擬議会は、街づくりをはじめとした自治体行政に子どもたちが参画する取り組みの一つです。今回は、墨田区の「中学生区議会」を紹介します。

子どもが意見を表明する権利

墨田区が中学生を対象に模擬議会を始めた1994年は、日本が「子どもの権利条約」を批准した年です。1989年に国連総会で採択された「子どもの権利条約」

は、子ども（18歳未満）の基本的人権を保障するために定められました。この条約の原則の一つに「意見を表明し参加できること」があります。^{※2} 模擬議会は、子どもが意見を表明する機会を確保し、施策に反映させる取り組みと言えます。

子どもが主体的に社会の課題解決に参加する機会に

「中学生区議会」の役割と目的について、墨田区広報広聴担当の中村友哉さんは、「主権者教育の一環として、未来を担う子どもたちが議会制度の体験を通じて郷土への関心を深め、一区民である中学生の意見を区政に反映させること」と説明します。

毎年4月に区立中学校、全10校から各校2名の議員を募集。その後、中学生議員らは、区の職員から区政の課題について講義を受けます。区ではオリジナルのワークシートを準備し、考えや提案のまとめ方を大学生がレクチャーするなど、子どもたちが議会での質問原稿を作成するサポートをします。中村さんは「子どもたちが主体的に社会の課題を学び、解決策を考えるプロセスを大切にしたい」と言います。

12月には本物さながらの議会が開催され、3名の代表質問に対して区長が答弁を行います。その後、三つの委員会に分かれて区の職員と意見交換や質疑応答が行われます。提案された意見はすべて担当部署に伝えられて施策立案の参考とされ

その中には実際に実現する提案もあります。

大人が子どもの意見を尊重するために

2021年度の議会で、「中学生が小学生と遊びや勉強、運動を一緒にする、交流サークルの発足」という提案がされました。提案者の中学3年生は、「育児と家事に忙しい母親の負担を軽くしたいと思った」と言います。この提案は、今年5月に、区内の中学校に設置された学童クラブで、同校のボランティア部の生徒が学童クラブの運営をサポートする取り組みとして実現しました。学童クラブを所管する子育て政策課のおおやぎさんは、「自分たちでは思い浮かばない素晴らしい提案が、大人の都合で中学生議員の考えと違ったものにならないように注意した」と言います。また、区教育委員会の宮本佳代子さんは、「様々な部署や関係者の連携、支援によって提案は実現しました。ボランティアの中学生が積極的に参加してくれ、小学生も喜んでくれた」と言います。

子どもをめぐる法整備が進む中で、子どもを「権利を持つ主体」として尊重することが求められています。子どもの意見を聞き、行政に活かす模擬議会の取り組みを参考に、子どもにとって最善の利益を優先する社会づくりについて考えてみませんか。

インタビュー・執筆 林勝一（東京都人権啓発センター専門員）

※1 墨田区では当初から対象を中学生としていたため、2001年度から名称を「子ども区議会」から「中学生区議会」に変更。今年度、29回目を数える。

※2 2021年4月に施行された「東京都子ども基本条例」においても、「こどもの意見表明と施策への反映」（第十條）が謳われている。

9月は東京都自殺対策強化月間です。

東京都では、9月を自殺対策強化月間として、「自殺防止！東京キャンペーン」を展開しています。期間中は電話相談の受付時間延長など、関係機関等と連携し、さまざまな取り組みを行います。**お問い合わせ** 東京都福祉保健局健康推進課 TEL 03-5320-4310

話してみよう 糸口見つかるから

●こころの悩み等についての電話相談（期間中の特別相談）

東京都自殺相談ダイヤル～こころののちのほっとライン～

日 時 9月10日(土)～14日(水)(各日24時間)

電話番号 0570-087478



電話相談

日本いのちの電話連盟

日 時 9月10日(土)(8:00～翌8:00)、9月10日以外(16:00～21:00)

電話番号 0120-783-556 (フリーダイヤル)

有終支援いのちの山彦電話 一傾聴電話一

日 時 9月の火・水・金・土・日・祝日(各日12:00～20:00)

電話番号 03-3842-5311

●自死遺族のための電話相談（期間中の特別相談）

全国自死遺族総合支援センター

日 時 9月12日(月)～14日(水)(各日10:00～20:00)

電話番号 03-3261-4350

グリーフケア・サポートプラザ

日 時 9月6日(火)～9日(金)(各日12:00～16:00)

電話番号 03-3796-5453

※東京都の「自殺防止！東京キャンペーン」についての情報は、こちらの特設ページでもご案内しています。



「東京都パートナーシップ宣誓制度」が2022年11月から始まります。

性自認

性的指向

東京都は、多様な性に関する都民の理解を推進するとともに、性的マイノリティの方々のパートナーシップ関係に係る生活上の不便の軽減などにつなげるため、パートナーシップ宣誓制度を創設します。

お問い合わせ 東京都総務局人権部企画課 TEL 03-5388-2337

※詳細はこちら



第3回 人権問題都民講座(全6回予定)

障害者

『「eスポーツ」の可能性 ～ゲームを通じて『誰もが』輝ける社会とは～』

コンピュータゲームをスポーツ競技として楽しむ「eスポーツ」を通じて、障害者の就労支援を行っている講師が、その社会的意義や可能性について解説します。

講座

日 時 2022年9月23日(金・祝) 14:00～16:00

講師 加藤 大貴(株式会社 ePARA 代表取締役社長)

申込締切 2022年9月14日(水)

参加方法 会場とオンライン同時実施予定

定 員 会場40名、オンライン (Zoom) 100名

東京都人権プラザでは、4種類の人権相談を実施しています

様々な人権課題

① 一般相談(月～金)

土日祝を除く・全て無料

② 法律相談(火)

③ 「インターネットにおける人権侵害」に関する法律相談(木) 要予約

④ 新型コロナウイルス感染症に係る人権問題に関する専門電話相談(月～金)

電話相談

日 時 ①③④ 9:30～17:30 ② 13:00～16:00

電話番号 ①③ 03-6722-0124

② 03-6722-0126 ④ 03-6722-0118

※相談時間、受付方法等の詳細は、こちらからご覧いただけます。



東京都人権プラザ(指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター) 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル TEL 03-6722-0123

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から臨時休館および会期変更の可能性がありま。

(公財) 東京都人権啓発センター賛助会員募集のご案内

皆様とパートナーシップを築き、人権意識の高揚、人権問題の解決に向けて、ともに手を携えてまいりたいとの趣旨から「賛助会員制度」を設けております。趣旨にご賛同いただき、是非ご加入下さい。

個人賛助会員 一口 2,000 円

団体賛助会員 一口 30,000 円

問い合わせ TEL 03-6722-0083

(公財)東京都人権啓発センター 企画広報課まで)



団体会員の皆様

(公財) 東京都農林水産振興財団
(公財) 東京都中小企業振興公社
(株) 首都圏環境美化センター
(一財) 東京都人材支援事業団
(株) ミライト・ワン
東京都中小企業団体中央会

東京都下水道サービス(株)
(公財) 東京都歴史文化財団
(一財) 東京都営交通協力会
(一社) 東京都信用組合協会
(一社) 医療大麻 dot オルグ
東京人権啓発企業連絡会

(公財) 東京都学校給食会
(一社) 東京環境保全協会
東京臨海高速鉄道(株)
(株) 東京エイドセンター
(公財) 東京しごと財団
東京交通サービス(株)

東京都住宅供給公社
東京都職員信用組合
東京都商工会連合会
東京臨海熱供給(株)
(株) 東京ビッグサイト
(公財) 東京観光財団

(公財) 東京税務協会
東京都立大学法人
(一財) 東京都弘済会
自治労東京都本部
(株) 東京交通会館
東京食肉市場(株)

東京港埠頭(株)
(株) ゆりかもめ
(順不同)

編集後記 | 今回のインタビューで印象的だったのは「パートナー」ということば。相手、相棒、配偶者やそのような関係の相手を指すが、このことばからは「対等」という意味が、より強く感じられるように思う。補助犬とユーザーは、どちらにとってもかけがえのない存在。ともに生きていくことの大切さ、そしてそれを受容する社会の必要性を「パートナー」ということばに込めた。

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO人権

Vol.95 2022年秋号 2022年8月31日発行(年4回発行)



マルチメディア DAISY 版を作成しています。ご希望の方は(公財)東京都人権啓発センターまでお問い合わせください。「DAISY(ディジー)」とは、視覚障害などさまざまな理由で活字を読むことが困難な方のための、デジタル図書です。

この冊子は再生紙を使用しています。本誌の無断転載はお断りします。本誌を研修等でご利用の際は出典をご明記ください。

制作 株式会社ブックマーク

発行 公益財団法人 東京都人権啓発センター

〒105-0014 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル2階

TEL 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084

https://www.tokyo-jinken.or.jp/